



草津町「湯路広場」工事で家具とサインを納入いたしました。



設計：K計画事務所様
施工：佐田建設株式会社様

昨年オープンした「御座の湯」は開館以来連日大賑わいだそうです。今年度の湯路広場・来年の「熱の湯」と整備工事が進み完成したら各時代を感じさせる施設が揃いますのでさらに賑わいをましますのではないのでしょうか。

その中で7月5日に湯路広場がオープンとなりました。我社は和風建築の公衆便所の通路ベンチ・洗面カウンタ等の家具及び木製サインを納入いたしました。写真の通り木回廊と柵田のような広場一番奥に従来のイメージを一新した公衆便所が配置されており、空間の広がりを感じられる広場となっております。家具・サイン共、和風イメージで統一されています。

第一弾「明治が香る御座の湯」オープン
第二弾「昭和のにぎわいの湯路広場」オープン
第三弾「大正ロマン風の熱の湯」建築中

草津町では24年度からの3か年計画で「湯畑周辺整備事業」を行っています。



通路に集成材ベンチを設けてあります



各便所洗面台は内装の米松に合わせてコーディネートされています



サインは隣の「御座の湯」と意匠を統一されています。わかり易い文字とカラーになっていますね。

これから暑い夏を迎えますが、いまから夏バテをしない様に気をつけてタイムズ編集に頑張りますので宜しくお願いいたします。

編集後記



日本は残念ながら敗退してしまいましたね。でも出られただけでもすごいと思います。また、ワールドカップ関連ニュースの中で気になっていたのは、スタジアムも含む周辺整備の遅れでした。確か開会式の当日まで工事が終わらなかったところもあると聞きました。我々が建築に絡む業種ということもあるのですが、建築に関するものは耳に入ってくると思います。もし、これが日本だったらと思わずにはいられません。

たぶん開催の一年もしくは半年前には完成し点検し、万全の準備がされているだろう。ただ、日本でもオリンピックが決定した後で、スタジアムの基本構想が変更されたりしているのですが、くれぐれも遅れない様にして頂きたいですね。

今年の6月・7月は世界中でFIFAワールドカップで賑わいましたね。普段、サッカーにはあまり興味のない筆者でもつい観てしまいましたから、熱心なファンはつい寝不足だったのでは。

ちょっと一息...

